

安全で快適な道路が続々と開通!

市街地と保津橋が直結 国道372号を改良

市民の皆さんの快適な生活を支えるためには、亀岡市と近隣市町や京阪神方面を結ぶ広域幹線道路、市街地と周辺地域の結ぶ地域幹線道路などの整備を進めることが重要です。亀岡市は、国や府、各道路整備促進協議会などと共に安全で快適な道路環境の整備に取り組んでいます。

5月10日、主要地方道亀岡園部線(保津南工区)が供用を開始しました。

開通区間は、保津橋の南詰(保津町)から延伸し、JR嵯峨野線をまたいで、市道クニツテルフルト通と交差する「春日坂交差点」(古世町)までの430mです。

同区間の開通で、踏切による交通渋滞が解消され、川東地域と市街地が直結されることによる交通の円滑化が図れるとともに、災害時には緊急輸送道路として同路線の防災機能も強化されます。

また、通学や通勤時などの安全性を向上させるため、道路の片側に幅3・5mの自転車歩行者道を整備しました。



△保津南工区開通を祝うテープカットとくす玉開き

さらに便利・安全に 国道372号を改良

4月30日、平成7年度から事業着手されていた国道372号の穂田野町柿花から宮前町猪倉までの1・1キロメートルの区間(湯ノ花工区)が開通。これまで狭小で見通しも悪かった同区間でしたが、2車線道路を整備し、

利便性と安全性の向上を図りました。また、幅3・5mの自転車歩行者道を整備し、湯ノ花温泉を訪れた人を含めた歩行者の安全にも配慮しています。

なお、同路線も災害時の緊急輸送道路であるため、今回の整備により、地域の防災力が向上しました。

定などを行い、同じ目標を持った仲間との交流を楽しみました。

大井町から参加した女性は「以前から取り組んできた介護予防体操を続けるうちに体力に自信がついたので、今回は脳力アップ教室に参加しました。皆さんとのふれあいを通じて、楽しく続けられそうです」と意欲的でした。

亀岡市では今後も、高齢者の皆さんが元気に暮らせる環境づくりをサポートしていきます。

「脳力アップ教室」で健やかに!



△初日に行われた体力測定

亀岡市では、高齢者が要支援・要介護状態になることを予

火曜日コース(5月13日、10月7日)と金曜日コース(5月16日、10月3日)各全20回が設定され、簡単な体操やウォーキング、レクリエーション、調理、お出かけ、手工芸などを通じて、参加者との交流を図りながら、脳機能の活性化を目指します。

火曜日コースの初日である5月13日には、23人が参加。オリエンテーションや体力測

「勝林島バイパス」も開通

市道においても、池尻宇津

根線の河原林町勝林島から河原尻にかけてのバイパス区間(約700m)が完成。これまでは車両のすれ違いも困難でしたが、車も歩行者も安心して使える道路として整備しました。同路線全体の拡幅工事は、平成28年度中の完成を目標に、順次改良を進めてまいります。



湯ノ花工区開通を記念して行われた通り初め

亀岡市では今後も、快適な生活と地域の発展を図るとともに、安全・安心のまちづくりを進めてまいります。

人権擁護委員・行政相談委員の紹介

人権擁護委員

人権擁護委員制度は、人間が人間らしく生きていく権利(基本的人権)を擁護し、お互いの人権を尊重し合える社会を築くための制度です。

本市では、次の10人が法務大臣から委嘱を受け、人権相談や啓発活動に活躍いただいています。

(敬称略、順不同)

古谷弘志(保津町) ☎22・5152

前田昌信(千代川町) ☎23・0612

杉若恵亮(本町) ☎22・1292

高茂子(東別院町) ☎27・2868



市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の診療部長兼外科主任部長が、専門分野についてアドバイスをします。



亀岡市立病院 診療部長兼外科主任部長 田中宏樹 専門分野: 乳腺外科、消化器外科

乳がんの話

女性のがんの中で一番多いのが乳がんです。日本女性の14人に1人が一生の間に乳がんを経験することになります。しかし乳がんで亡くなる人は罹った人の22%ほどで、がんの中では比較的予後の良いがんなのです。

乳がんの特徴は比較的若年に多いことで、40歳代後半に罹患率のピークがあり、そのため40歳から65歳までの女性がん死亡率の1位は乳がんです(それ以後は大腸がんが1位)。

やさしい健康講座 第八十五回

んが1位)。

若い患者さんが、お子さんを残して亡くなるのを見るのは大変なことですが、がんになっても治るためにはやはり早期発見が手立てはあります。検診ですべてのがんが発見できるわけではありませんが、乳がんのマンモグラフィ検査や、大腸がんの便潜血反応検査は比較的簡単な検査で効果も実証されており、女性には是非お勧めしたい検診です。欧米では乳がん検診受診率は70%を超えていますが、日本では約25%ほどです。亀岡市では受けられる施設を増やし改善傾向にありますが、まだ約22%です。

今年も亀岡市乳がん検診が6月から始まります。申し込み方法がわからない方は当院や保健センターにお電話でお問い合わせください。

政の仕事に関する苦情や問い合わせの相談を受け、事案の解決に努めています。本市では、次の2人に活躍いただいています。

(敬称略、順不同)

川勝 雅(東別院町) ☎27・2041

伊藤正明(大井町) ☎22・1730

行政相談は、毎月第4木曜日、午後1時30分から4時まで、市役所1階の市民相談室(10月は第3木曜日に市民ホール)で行っています。秘密は厳守しますので気軽に相談してください。詳しくは、市民課市民相談係25・5005または、京都府行政評価事務所行政相談課075・802・1100へ。



行政相談委員

行政相談委員法に基づき総務大臣から委嘱される委員で、市民の相談相手として、国など行